

連合気仙

【2016.8.1】

No.107

連合岩手 気仙地域協議会
大船渡市猪川町字前田 9-17
TEL/FAX 0192-27-8671

発行責任者：梅澤岩雄
編集責任者：星 正和

職場・地域から世界へ！ つくろう平和と人権

未来につなぐ平和への想い

七月二七日、カメラアホールを会場に「二〇一六平和運動 気仙地区平和集会」を開催し、八〇名が参加した。集会後は、世界の恒久平和、核兵器廃絶などのプラカードを掲げ、盛岡内を行進して平和の尊さを市民に訴えた。

二七日は、気仙地域一円を街宣して、世界の恒久平和の実現と被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しなど、スピーカーを通して二市一町の皆さんに呼びかけた。

平和集会前には、JR盛岡前で街頭チラシ配布と街宣行動、会場では16mmフィルムの上映をおこなった。

集会では、梅澤実行委員長が核兵器や戦争による社会の現状に触れて「平和への思いを語り継ぎながら、一日でも早く、平和で安らげる世の中を」とあいさつで訴え、大槻県実行委員からは、県内の平和行動の取り組みの報告があった。

in 広島

8月4日～6日

平和行動 in 長崎

8月8日～10日

昨年、北方領土返還要求運動に参加した梅澤さんからの報告、実行委員会・地協幹事会も手を加えた折り鶴二〇〇羽を近藤鶴姫から大槻実行委員に伝達した。また、佐藤実行委員会事務局次長が「本年の平和行動を、二〇一六NPPT再検討会議に向けた世論喚起や、核兵器禁止条約の発効に向けた、さらなる運動推進のスタートと位置づける」とした平和アピールを提案、確認して閉会した。

集会後、参加者は、アピールボードなどを掲げ、盛岡内をデモ行進して、市民へ平和の尊さを訴えた。

連合気仙

気仙 Shine up

プロジェクト 輝く未来に向けて

第二回組織代表者会議（二〇一六六七）で議題とした「男女平等社会の実現に向けた取り組み」の一環として、七月二日、気仙教育会館において「女性の活躍促進プロジェクト」(仮称)会議を開催し、具体的な活動について確認した。

会議では、プロジェクトの目的・構成・運営体制や取り巻く背景・基本的な考え方などを確認した。

公募制とした名称は、出席者からの案を含めて投票により「気仙 Shine up」プロジェクトに決まった。

Shine up とは「磨き上げる」という意味合いがある。

プロジェクトの構成は、女性組合員が在籍する単組を原則として含めることを確認し、担当者の報告を求めることにした。

活動展開にあたる運営体制は、以下のとおり。

▽リーダー 紺野千鶴子
▽サプリー 熊谷 孝子
新沼 莉桜
高橋 瀬菜
大野 裕妃

▽メンバー 各単組担当者
▽アドバイザー 連合気仙地協の議長・副議長三名

次回は、九月中旬頃に開催して構成単組の最終確認や取扱い課題を検討する。

美味しい
かぜ(海栗)
の季節



かぜは、収穫シーズン中(6月中旬-8月中旬)の口開け回数が決まっているため、採れたてのかぜは貴重です！

漁獲量は全国4位の岩手。しかし、かぜがいつでも手に入るわけではなく、需要があるのに店頭に出せない産直や自慢の「うに丼」をお店で提供できないと困っている飲食店もあるみたいです。海水温が高くなると産卵期に入り、身が緩んだり、膿を持ち始めます。そうすると味が落ちるので、是非、早めに食べてくださいね！